2023年度事業報告・収支決算報告
2024年度事業計画・収支予算計画

2024（令和6）年6月

特定非営利活動法人

ホープフル・タッチ

INDEX

2023年度主な活動 2

活動地の状況 .... 3 - 4

2023年度事業報告 .... 5 - 10
施設整備・活動運営等の教育支援事業
スーダン

食糧・衛生品等の物資配布事業
シリア
スーダン避難民

国内外の市民社会組織との連携及び啓発事業
日本

2023年度収支決算報告 .... 11 - 16
活動計算書
財産目録
貸借対照表
財務諸表の注記
予算執行状況
2023年度収益実績
2023年度予算執行報告
前年度実績対比
監査報告書

2024年度事業計画 17

2023年度収支予算計画 18
活動予算書

活動アルバム 19

2023年度主な活動

2023年度はスーダン・ハルツーム州とシリア・ラッカ県にて主に教育、子ども保護、保健・栄養・食糧の分野で教育支援事業と物資配布事業を実施しました。スーダンでは2023年4月に勃発した内戦が続き、エジプトへ避難した貧困世帯への緊急人道支援を行いました。
連携及び啓発事業では、対面での講演会やワークショップを計画及び実施しました。

教育支援事業

シリア　教育や社会参加の機会をもちにくい、疾患や障がいをもつ子ども達への家庭学習やレクリエーション活動を提供し、心身発達の促進に寄与しました。
スーダン　情勢悪化を受け、活動内容を変更しながら学校菜園の運営を通じたライフスキル教育の向上事業を継続しました。

物資配布事業

シリア　前年度に引き続きクリニックへの医療物資提供を通じ、疾患や障がいをもつ子ども達に診療や補装具を提供しました。個々人の状態に合わせた定期的な理学療法により、身体機能の改善に努めました。
スーダン　内戦によりエジプトへ避難した、母子を中心とする貧困世帯に食糧バスケットを配布しました。

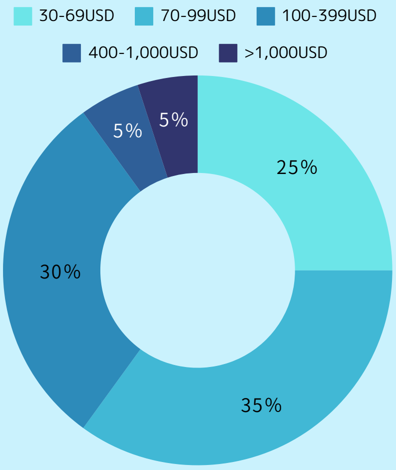
連携・啓発事業

活動地の課題や団体の活動について、一般の方々へお伝えし、理解を深めるための講演会に登壇し、ワークショップを開催しました。有志企画メンバーと共に、難民問題を日本の子ども達と考える新しいワークショップ作成に取り組みました。

活動地の状況

シリア

未だ続く内戦は14年目に入りました。アサド政権が反政府軍側の領地を奪還し、国の70%の領土を統治下においているものの、ロシアやイランの介入もあり国内各所で戦闘が続いています。イスラエルはガザ侵攻以降、シリア国内のイランやシリアの軍事拠点を強化しています。弊会活動地であるラッカ県が位置するシリア北西部は、アメリカから援軍を受けたクルド系自治政府の占領下にあり、トルコに隣接する地域はトルコ政府統治下にあります。政治的混迷が続き、それに乗じて各武装勢力が強化されつつあり、解決のためには国際的合意に至る必要がありますが、非常に難しいのが現実です。
人道危機は深刻化するばかりで、国民の70%が人道支援を必要とする状況にあります（*1）。シリア人権監視団によると、内戦によりこれまでに60万人以上が命を落としました（*2）。未だ501万人以上が周辺国で避難民として（*3）、724万人以上が国内避難民として生活しています（*4）。
国民の経済的な悲惨さを示すとされる経済指標であり、失業率と消費者物価指数の上昇率から算出されるMisery Index 2023（*5）では、シリアは157カ国中第4位と「経済的悲惨さ」が非常に高く、特に消費者物価指数の上昇率がその要因です。ラッカ県における貧困率を測ることは困難ですが、県民の60%が月収100USD未満で生活しています（*6）。



ラッカ県民の推定月収

シリアにおける内戦は長期化し、他の国や地域における人道危機も年々増加しています。これらの状況のほか、政治的複雑さや資金不足を理由に、ラッカ県での活動から撤退する支援団体が増えています。医療支援は主に、大規模支援を行っている国際NGOにより実施されていますが、障がいをもつ子どもへの支援は非常に限られています。
地雷や空爆など、内戦の影響により障がいを負った子ども達へ義肢や理学療法を提供しているのは、ラッカ県だけでなくシリア北西部で弊会のみです（2024年5月現在）。義肢・義手提供を待つ子ども達は、ラッカ県だけでも1,000名以上とされています。同地の保護者の方々からは、「活動を続けて欲しい」、「より多くの子ども達に支援を届けてほしいが、少しずつでも活動が続いていることが希望になる」という声をいただいています。

(*1)　https://www.cfr.org/global-conflict-tracker/conflict/conflict-syria
(*2)　https://www.syriahr.com/en/
(*3)　https://data.unhcr.org/en/situations/syria
(*4)　https://data.unhcr.org/en/country/syr
(*5)　https://www.nationalreview.com/2024/03/hankes-2023-misery-index/
(*6)　2024年4月実施弊会現地ヒアリングによる

スーダン

慢性的な政治経済的混乱や、感染症、洪水などの定期的な自然災害を抱えるスーダンでは、2023年4月に勃発した国軍と準軍事組織間の武力衝突と内戦化により、人道危機が増大し続けています。この内戦により数万人が命を失い、約1,800万人（国民の37%）が深刻な飢餓に直面し、国民の2人に1人が人道支援を必要とする状況にあります。800万人以上が避難を強いられ、国連は「戦争犯罪及び人道に対する罪」に該当する可能性を示しています（*5）。
国軍と準軍事組織は各地域における戦闘と占拠を繰り返し、民間人の殺害、誘拐、強姦、民家や商店から金品の強奪など非人道的行為を続けています。人々は統治者側のルールに従い生活しなければならず、特に女性は誘拐や強姦を恐れながら部屋に隠れて過ごしています。準軍事組織から避難を目的とした移動と判断され、その場で命を落とした人々も多くいました（*6）。人道支援は軍のコントロール下にあり、国際支援機関は迅速に公正な支援を届けることが、非常に困難になっています。
弊会の活動地である首都ハルツームは、内戦勃発時から戦闘の中心となり、現在も日々の戦闘と領土争いが続いています。活動対象校があるエリアは、2024年5月時点で準軍事組織の統治下にあり、道路なども準軍事組織によりコントロールされています。この状況下では、準軍事組織に「国軍を支持している」と捉えられる行動があった場合、命を落とす危険性があります。自由に地域外へ行き来できず、緊張した生活が続いています。
内戦開始以降1年間以上、小学校は休校したままです。自主的に登校している教師が臨時授業のなかで、同じく自主的に登校する生徒の学習内容をフォローアップしていますが、子ども達の権利は阻害され続けています。

(*5) https://www.aljazeera.com/news/2024/4/15/crimes-against-humanity-may-have-been-committed-in-sudan-says-un-chief
(*6) https://www.aljazeera.com/features/longform/2024/4/15/birth-death-escape-three-womens-struggle-through-sudans-war

Jok Solomun/REUTERS

2023年度事業報告
2023年4月1日-2024年3月31日

施設整備・活動運営等の教育支援事業
スーダン

活動分野	教育、栄養、食糧
実施期間	2023年4月-2024年3月
対象地	ハルツーム州 ジャバル・オーリア地区 オム・ドゥルマン地区
対象者	農村部の公立小学校6校 第5〜8学年生徒293名 教師12名

慢性的な貧困や食糧危機が続くスーダンにおいて、子ども達の食に関するライフスキルを向上するため、学校菜園事業を継続実施しました。
対象校の休校が続くなか、生徒へのトレーニングについては、教師が前年度までに獲得した知識や技術を自主的に工夫・応用し、臨時授業のなかで実践しました。食糧不足を受け、学校菜園での経験を活かして家庭菜園に挑戦する生徒もいました。家庭への応用に際しては、教師や現地専門家、弊会スタッフがその方法を説明し、野菜のタネを提供しました。
2021年度に作成し、生徒に配布した食育ワークブックは主に、生徒達の家庭学習ツールや読み物として活用され、弊会スタッフや教師からも読み進んだ内容を定期的に確認するなど、家庭学習をフォローアップしました。

活動の成果

生徒の食に関するライフスキルが向上

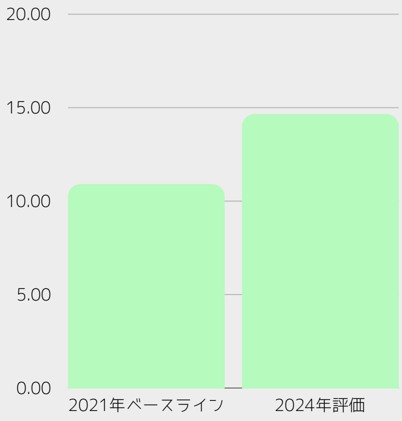
生徒のライフスキル教科「食と栄養」セクションの試験平均点が増加しました。

横断データ（*1）における平均点の増加率：34.38%
縦断データ（*2）における平均点の増加率：67.14%

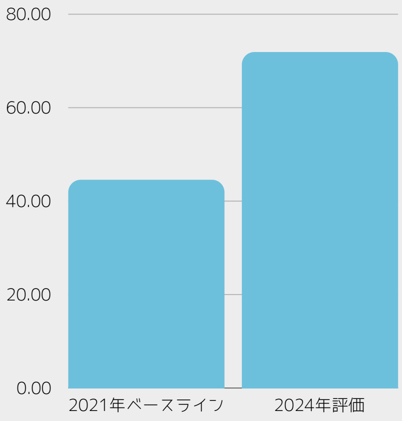
生徒が菜園管理の知識と手法を獲得

生徒の菜園管理テストの試験平均点が増加しました。

横断データ（*1）における平均点の増加率：22.44%
縦断データ（*2）における平均点の増加率：61.34%



ライフスキル教科「食と栄養」試験
20点満点平均点（縦断データ）



菜園管理テスト
100点満点平均点（縦断データ）

*1
2021年度5-8年生群と2024年度5-8年生群
*2
同じ生徒の2021年ベースライン時と2024年評価時

教師の食育指導スキルが向上

教師の食育指導スキルチェック（現地専門家による授業観察）平均点が増加しました。

平均点の増加率：224.20%

- 授業中に生徒にポジティブなフィードバックを与えている
- 生徒が生活のなかで体験する「食」と関連づけて説明している
- 実物を提示するなど視覚的教材を使用している
- 農業技術など実践的な活動を授業盛り込んでいる　など

生徒が獲得した知識・スキルを応用

学校菜園活動やトレーニングで得た知識やスキルを応用し、生徒が家庭菜園に挑戦しました。

家庭菜園を始めた家庭：28世帯

食糧・衛生品等の物資配布事業
シリア

活動分野	子ども保護、保健
実施期間	2023年4月-2024年3月
対象地	ラッカ県ラッカ市内
対象者	内戦下で生活し疾患や障がいをもつ子ども69名（うち15名に義肢、6名に補聴器、4名に眼鏡を提供）

内戦の影響により、慢性疾患や障がいをもつ子ども達への医療支援を継続しました。現地クリニックの医師と連携し、子ども達への診療や補装具（義肢、補聴器、眼鏡）を提供しました。また空爆や地雷により体の一部を失ったり、内戦下の医療環境が整わないなか生まれ、後遺症をもつ子ども達に理学療法を継続的に提供しました。姿勢の維持や座る／しゃがむ動き、歩行に難しさのある子どもが多く、保護者にも家庭でできるストレッチ方法を紹介しました。
器質的な難しさに加え、社会参加の機会を得られなかった経験不足から、認知発達に遅れがみられるケースが多くありました。現地ボランティアと共に、子ども達が集中して一定時間活動に取り組むことや、コミュニケーションを活発化することを練習しました。

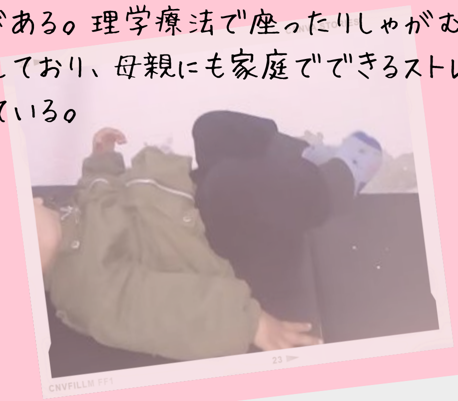
子ども達を支える地域の連携

医療・福祉・教育に関し、障がいをもつ子ども達に対してサポート提供が可能な、組織機関や専門家をリストアップし、同意を得られた機関・個人のサービスマッピングを作成しました。コミュニティ内に存在する社会的リソースについて、専門家・保護者間で共有できました。

子ども達の状況と取り組み

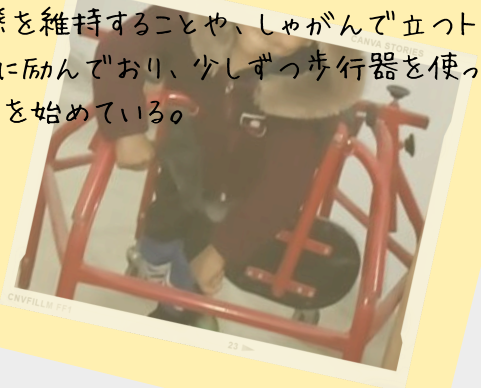
イスマイルくん　3歳

早産で生まれ、保育器内で過ごすことができなかったために、脳萎縮と重度の筋力低下をもっている。認知発達の遅れや、特に協調運動に難しさがある。理学療法で座ったりしゃがむことを練習しており、母親にも家庭でできるストレッチを伝えている。



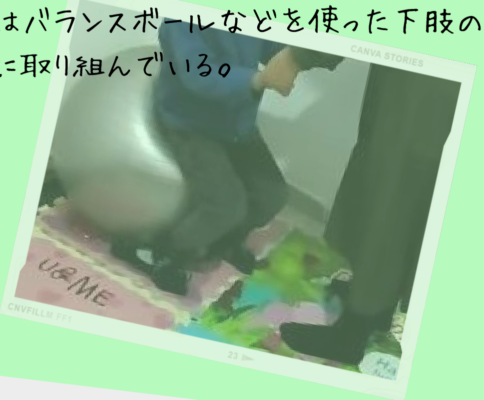
アブドゥルラハマンくん　5歳

早産で生まれ、保育器内で過ごすことができなかったために、脳萎縮をもっている。全身の筋力や体幹バランスが低下しており、脚や顔の筋肉が緩み自立的に姿勢を維持することが難しい。座った状態を維持することや、しゃがんで立つトレーニングに励んでおり、少しずつ歩行器を使って歩く練習を始めている。



マルワさん　9歳

新生児低酸素脳症による後遺症で、コミュニケーションにおける認知発達の遅れや、筋緊張の減少がある。歩行や微細運動に難しさがあり、理学療法ではバランスボールなどを使った下肢の筋肉強化に取り組んでいる。



ゼイナブさん　7歳

数年前に空爆で負傷し片脚を失った。以来車椅子か誰かに抱えられたり、片脚で飛び跳ねながら移動するしかなかった。義肢を作ってから医師や家族と一緒に歩行訓練を繰り返し、自分の脚で歩けるようになった。

*名前はすべて仮名

食糧・衛生品等の物資配布事業
スーダン避難民

活動分野	子ども保護、食糧
実施期間	2023年8、11月
対象地	エジプト・アラブ共和国 ギザ県
対象者	スーダン避難民 母子を中心とした貧困世帯 8月：40世帯 11月：120世帯

4月に発生したスーダン国軍と準軍事組織間の戦闘により、エジプトへ避難したスーダン避難民計160世帯に、1ヶ月分の緊急食糧配布を実施しました（配布した食糧：砂糖、食用油、小麦粉、米、マカロニ、粉乳、乾燥ソラマメ、乾燥レンズマメ、トマトペースト）。特に脆弱性の高い女性や子ども達の母子世帯や、負傷した世帯主を抱える家族を対象としました。エジプトの支援団体が母子世帯の避難民にシェルターを提供していますが、基本的な食糧や生活用品が圧倒的に不足しています。長引く避難生活の中でも、収入源を見つけることは大変難しく、特に女性や子どもは避難先で不法で危険な労働に就くことが多く、性被害に合うことも少なくありません。
開戦から1年以上経過しましたが、未だ約50万人がエジプトで避難生活を送っています。内戦終結の見通しは立たず、スーダン国内外に避難している人々の人道危機は深刻化しています。

国内外の市民社会組織との連携及び啓発事業
日本

2023年度は講演会・大学講義への登壇やワークショップ開催を通じ、団体の活動地における課題や現状、支援活動について、多世代の方々に知っていただき、共に考える機会を提供しました。

開催日	内容	参加者数
2023/5/2	上智大学大学院教育学研究科　講義「NGOs and Education Development」ゲストスピーカーとして登壇 ミャンマーから日本へ留学している大学院生の方々に、スーダンにおける社会的課題と弊会の取り組みについて説明し、支援のあり方についてディスカッションしました。	3名
2023/6/8	特定非営利活動法人みんなの広場ひびき共催　講演会「シリア・スーダン　子ども支援　講演会」開催 板橋区で地域支援に取り組んでいらっしゃる特定非営利活動法人みんなの広場ひびき様の活動に参加されているメンバーの方々に、活動地の状況や弊会の取り組みについてご紹介しました。	11名
2023/7/7	一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会北支部　会合内講演会「ホープフル・タッチ活動報告」ゲストスピーカーとして登壇 有志で国際協力に取り組む日本女子大学の同窓会・桜楓会北支部会員のみなさまに、活動地の状況や弊会の取り組みについてご紹介しました。	10名
2023/8/6	特定非営利活動法人みんなの広場ひびき共催対面ワークショップ「知る・感じる・考える～せんかを生きる女の子のお話～」開催 弊会有志企画メンバーが企画した、シリア内戦や難民をテーマにした体験型ワークショップへ、小学生や保護者の方にご参加いただきました。	19名
2023/11/14	日本女子大学社会福祉学科　講義「国際社会福祉論」ゲストスピーカーとして登壇 弊会の活動や国際協力・国際人道支援について学部生の方々に説明し、支援活動における難しさに関して話し合いました。	70名

参加者の声（11/14参加者より一部抜粋）

「日本にいると当たり前の子どもが教育を受けることができるというのは当たり前ではないことを改めて実感した。」
「（内戦や避難生活に関するシリア人の）子どもたちの絵を見て衝撃を受けたしこんなことあってはならないと感じました。」

2023年度収支決算報告

2023年4月1日-2024年3月31日

活動計算書

法人名:　特定非営利活動法人ホープフル・タッチ

活動計算書

2023 年 4 月 1 日 から 2024 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科　目	金　額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	108,000		
賛助会員受取会費	6,000	114,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,697,346	1,697,346	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	5,954,400	5,954,400	
4. その他収益			
受取利息	28		
為替差益	450,555	450,583	
経常収益計			**8,216,329**
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	3,677,553		
人件費計	**3,677,553**		
(2)その他経費			
謝金	217,455		
車両費	98,265		
通信運搬費	18,214		
消耗品費	2,391,244		
支払寄付金	2,491,819		
その他経費計	**5,216,997**		
事業費計		**8,894,550**	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	**0**		
(2)その他経費			
支払手数料	67,359		
為替差損	1		
その他経費計	**67,360**		
管理費計		**67,360**	
経常費用計			**8,961,910**
当期正味財産増減額			**△ 745,581**
前期繰越正味財産額			**5,649,289**
次期繰越正味財産額			**4,903,708**

財産目録

法人名：　特定非営利活動法人ホープフル・タッチ

財産目録

2024 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	1,903,761		
みずほ（法人口座）	2,637,151		
Garanti Bankasi	1		
ゆうちょ（振替）	270,500		
Ziraat Katilim (SDG)	18,217		
Ziraat Katilim (USD)	6,960		
未収金			
マンスリーサポート	67,118		
流動資産合計		4,903,708	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,903,708
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,903,708

貸借対照表

法人名：　特定非営利活動法人ホープフル・タッチ

貸借対照表

2024 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,836,590		
未収金	67,118		
流動資産合計		4,903,708	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,903,708
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,649,289	
当期正味財産増減額		△ 745,581	
正味財産合計			4,903,708
負債及び正味財産合計			4,903,708

財務諸表の注記

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)　棚卸資産の評価方法

棚卸資産は低価法により評価しています。原価は平均法により算出しています。

(2)　固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3)　貸倒引当金の計上基準

貸倒引当金は、過去の実績、および滞留状況を基準に計上しています。

(4)　施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5)　ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(6)　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科　目	教育支援事業	物資配布事業	**事業部門計**	管理部門	**合計**
I　経常収益					
1.　受取会費	0	0	**0**	114,000	**114,000**
2.　受取寄附金	0	0	**0**	1,697,346	**1,697,346**
3.　受取助成金等	0	0	**0**	5,954,400	**5,954,400**
5.　その他収益	0	0	**0**	450,583	**450,583**
経常収益計	**0**	**0**	**0**	**8,216,329**	**8,216,329**
II　経常費用					
(1)　人件費					
給料手当	2,014,419	1,663,134	**3,677,553**	0	**3,677,553**
人件費計	**2,014,419**	**1,663,134**	**3,677,553**	**0**	**3,677,553**
(2)　その他経費					
謝金	217,455	0	**217,455**	0	**217,455**
車両費	98,265	0	**98,265**	0	**98,265**
通信運搬費	0	18,214	**18,214**	0	**18,214**
消耗品費	59,573	2,331,671	**2,391,244**	0	**2,391,244**
支払手数料	0	0	**0**	67,359	**67,359**
支払寄付金	0	2,491,819	**2,491,819**	0	**2,491,819**
為替差損	0	0	**0**	1	**1**
その他経費計	**375,293**	**4,841,704**	**5,216,997**	**67,360**	**5,284,357**
経常費用計	**2,389,712**	**6,504,838**	**8,894,550**	**67,360**	**8,961,910**
当期経常増減額	**△ 2,389,712**	**△ 6,504,838**	**△ 8,894,550**	**8,148,969**	**△ 745,581**

予算執行状況

2023年度収益実績

2023年度収益実績

特定非営利活動法人ホープフル・タッチ　（単位：円）

	予算計画			実績			実績／予算
1 受取会費							
正会員受取会費	156,000			108,000			69%
賛助会員受取会費	126,000			6,000			5%
		282,000			114,000		40%
2 受取寄附金							
受取寄附金：個人	1,625,000			1,522,513			94%
受取寄附金：法人	800,000			174,833			22%
		2,425,000			1,697,346		70%
3 受取助成金等							
公益財団法人味の素ファンデーション				3,500,400			
公益社団法人国土緑化推進機構				954,000			
フェリシモ基金事務局	3,500,000			1,000,000			
草の根市民基金ぐらん				500,000			
		3,500,000			5,954,400		170%
4 事業収益							
事業収益	0			0			
		0			0		
5 その他収益							
受取利息	30			28			93%
為替差益	200,000			450,555			225%
		200,030			450,583		225%
収益計			6,407,030			8,216,329	128%

2023年度予算執行報告

2023年度予算執行報告・経常費用

特定非営利活動法人ホープフル・タッチ　（単位：円）

科目			タグ	予算	獲得予算	支出	消化率
1　事業費	(1)　人件費	給料手当	シリア	820,000	2,241,841	1,663,134	74%
			スーダン	1,818,000	3,500,000	2,014,419	58%
		人件費計		2,638,000	5,741,841	3,677,553	64%
	(2)　その他経費	海外事業費　教育	スーダン	3,788,000	617,976	375,293	61%
		海外事業費　物資配布	シリア	4,070,000	6,587,255	3,990,518	61%
			スーダン	500,000	851,186	851,186	100%
		国内事業費	啓発事業	90,000	0	0	–
		その他経費計		8,448,000	8,056,417	5,216,997	65%
	事業費計			11,086,000	13,798,258	8,894,550	64%
2　管理費	(1)　人件費			0	0	0	
		人件費計		0	0	0	–
		支払手数料		20,000	67,359	67,359	100%
		為替差損		75,000	1	1	100%
		雑費		50,000	0	0	–
		その他経費計		145,000	67,360	67,360	100%
	管理費計			145,000	67,360	67,360	100%
費用計				11,231,000	13,865,618	8,961,910	65%

前年度実績対比

前年度実績対比(経常収益・費用)

特定非営利活動法人ホープフル・タッチ　(単位:円)

科目	2022年度実績	2023年度実績	2023年度/2022年度
Ⅰ 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	168,000	108,000	64%
賛助会員受取会費	72,000	6,000	−
受取会費計	240,000	114,000	48%
2 受取寄附金			
受取寄附金	3,850,740	1,697,346	44%
受取寄附金計	3,850,740	1,697,346	44%
3 受取助成金等			
受取民間助成金	8,950,200	5,954,400	67%
受取民間助成金計	8,950,200	5,954,400	67%
4 その他収益			
受取利息	14	28	200%
為替差益	373,074	450,555	121%
その他収益計	373,088	450,583	121%
経常収益計	13,414,028	8,216,329	61%
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,924,755	3,677,553	94%
人件費計	3,924,755	3,677,553	94%
(2) その他経費			
業務委託費	90,024	0	−
謝金	777,833	217,455	28%
印刷製本費	916,021	0	−
会議費	4,000	0	−
旅費交通費	59,756	0	−
車両費	1,926,081	98,265	−
通信運搬費	14,441	18,214	126%
消耗品費	3,528,470	2,391,244	68%
地代家賃	199,413	0	−
支払寄付金	274,460	2,491,819	908%
構築物	23,349	0	−
その他経費計	7,813,848	5,216,997	67%
事業費計	11,738,603	8,894,550	76%
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	−
(2) その他経費			
通信運搬費	4,080	0	−
支払い手数料	193,385	67,359	35%
為替差損	24,153	1	0%
その他経費計	221,618	67,360	30%
管理費計	221,618	67,360	30%
経常費用計	11,960,221	8,961,910	75%

監事監査報告書

特定非営利活動法人
ホープフル・タッチ
理事長　高田　みほ　殿

令和６年５月 15 日
特定非営利活動法人
ホープフル・タッチ

監事　箱守　翠　（印）

私は、令和５年４月１日から令和６年３月 31 日までの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

１　監査の方法の概要

（１）　会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

（２）　業務監査について、月次の報告書を確認し、又理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

２　監査意見

（１）　活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。

（２）　事業報告書の内容は真実であると認める。

（３）　理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

2024年度事業計画

スーダンでの活動については、内戦が激化し情勢の見通しを立てにくいことから、新規事業は実施せず、これまでのライフスキル向上事業のモニタリングとフォローアップ活動を中心とします。シリアでの事業はコミュニティクリニックと連携しながら継続実施し、疾患や障がいをもつ子ども達への医療支援のほか心理社会的支援を強化します。日本においては引き続き、イベントや講演会、ワークショップを通じた連携及び啓発事業を企画・実施します。

	シリア	日本
事業分野	施設整備・活動運営等の教育支援事業 食糧・衛生品等の物資配布事業	国内外の市民社会組織との 連携及び啓発事業
活動分野	子ども保護、保健、教育	教育
対象地	ラッカ県ラッカ市内	日本国内（対面やオンラインを含む）
対象者	疾患や障がいをもつ子ども70名	イベント・講演会：多世代 ワークショップ：中学生以上
事業目標	内戦下で生活し、疾患や障がいをもつラッカ県市内に居住する子ども70名の心身の発達が促進する。	国際的な社会課題について、多世代の人々が自分ごととして考える。
活動内容	コミュニティクリニックと連携し、地域の子ども達の心身の健康を実現し、維持する機能を強化します。 • 内戦の影響で慢性疾患や障がいを負った子ども達に無料・低料金で診療を提供します。 • 障がいをもつ子ども達に、補装具（義肢・補聴器など）や理学療法を提供します。 • 疾患や障がいをもつ子ども達が健康な生活を築き、社会活動に参加していかれるよう、心理社会的発達支援を導入します。	日本では話題になりにくい、国際的な社会課題や国際協力について、多世代の人々が知り、考え、行動するきっかけを提供します。 • 弊会活動や活動地の状況について紹介するイベントを主催するほか、非営利団体や教育機関など、様々なアクターの方々と連携した講演会などに参加し、活動地の子ども達の生活向上に繋げます。 • 有志企画メンバーと共に、「難民」をトピックとしたワークショップの企画を継続します。

2024年度収支予算計画

活動予算書

２０２４年度　活動予算書
２０２４年４月１日から２０２５年３月３１日まで
特別非営利活動法人ホープフル・タッチ
（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 収益			
１.受取会費			
正会員受取会費	144,000		
賛助会員受取会費	6,000		
		150,000	
２.受取寄附金			
受取寄附金	1,000,000		
		1,000,000	
３.受取助成金等			
受取民間助成金	2,000,000		
		2,000,000	
４.事業収益			
事業収益	0		
		0	
５.その他収益			
受取利息	30		
為替差益	250,000		
		250,030	
収益計			3,400,030
Ⅱ 費用			
１.事業費			
（1） 人件費			
給料手当・シリア	2,000,000		
給料手当・スーダン	1,500,000		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	3,500,000		
（2） その他経費			
海外事業費（施設整備・活動運営等の教育支援事業）・スーダン	1,000,000		
海外事業費（食糧・衛生品等の物資配布事業）・シリア	4,600,000		
国内事業費（国内外の市民社会組織との連携及び啓発事業）	50,000		
その他経費計	4,650,000		
事業費計		8,150,000	
２.管理費			
（1） 人件費	0		
人件費計	0		
（2） その他経費			
支払手数料	100,000		
為替差損	10,000		
雑費	10,000		
その他経費計	120,000		
管理費計		120,000	
費用計			8,270,000
税引前当期正味財産増減額			-4,869,970
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			-4,869,970
前期繰越正味財産額			4,903,781
次期繰越正味財産額			33,811

活動アルバム

シリア

専門家による理学療法を受けられる場所は、ほとんどない。

少し痛いけど、がんばる子ども達。

長い年月待っていた、自分の新しい脚。

歩く練習をして、自由に移動したい!

スーダン

菜園活動はちょっとした安らぎを与えてくれる。

学んだことを家で試して野菜を植えてみた!